

図書館司書課程各科目の対応関係と、履修のための留意事項

図書館司書課程の各科目は、別紙「同志社大学図書館司書課程教科間の関係(2018年度生以降)」図に示すような対応関係を持っています。これらの科目のうち、各演習科目については履修のための条件科目が以下のように設定されています。これらの履修条件科目は原則として演習科目を履修する前年度までに修得することが求められます。特に「図書館演習」の履修条件科目は厳密に運用されますので、3年次までに履修条件科目を修得していないと4年間では司書資格は取得できないことにもつながります。

また、履修のための条件とはなっていませんが、「情報資源組織演習Ⅱ」の効果的な学習を行うために「図書館情報技術論」の修得(または最低限でも同時履修)が強く推奨されます。さらに、「図書館演習」においては4日～2週間の現場実習が含まれていますが、この実習を行う図書館によっては、履修のための条件科目とは別に、「図書館情報技術論」「情報資源組織演習Ⅰ」などを修得している(または同時履修している)ことが実習生受け入れの条件となっている場合もあります。

	履修条件科目	事前/同時の修得を推奨
情報サービス演習Ⅰ	図書館情報学概論	図書館情報サービス論Ⅰ
情報サービス演習Ⅱ	図書館情報学概論	図書館情報サービス論Ⅱ
情報資源組織演習Ⅰ	情報資源組織論Ⅰ	
情報資源組織演習Ⅱ	情報資源組織論Ⅱ	図書館情報技術論
図書館演習	図書館情報学概論	情報資源組織演習Ⅰ
	図書館制度・経営論	図書館情報技術論
	図書館情報サービス論Ⅰ	
	図書館情報サービス論Ⅱ	

加えて、図書館演習に含まれる現場実習期間中は「いかなる理由があろうとも」遅刻欠席は厳禁となっており、春学期の出席も含めて就職活動その他に影響が及ぶ可能性があります。したがって、図書館司書資格の取得のためには、翌年度以降の演習科目の履修も視野にいれて、計画的に履修を行うことが望まれます。

[モデル履修パターン]

- 1年次 生涯学習概論, 図書館情報学概論, 図書館情報サービス論Ⅰ, 図書館情報サービス論Ⅱ
- 2年次 図書館制度・経営論, 図書館情報資源概論, 情報資源組織論Ⅰ, 情報資源組織論Ⅱ
情報サービス演習Ⅰ, 情報サービス演習Ⅱ
- 3年次 図書館情報技術論, 情報資源組織演習Ⅰ, 情報資源組織演習Ⅱ
- 2年次～4年次
児童サービス論, 選択科目(図書館情報資源特論, 図書・図書館史, 学術情報利用教育論, 学校図書館サービス論, 図書館情報学特論)
- 3年次または4年次(履修条件科目などの履修状況による) 図書館演習

[免許・資格関係科目として登録(M登録)するには]

図書館司書課程の科目をM登録するためには、図書館司書課程の仮登録または本登録をDUE Tで完了しておく必要があります。また、仮登録は本登録を行うまで毎年行う必要があります。1年次に仮登録を行った場合でも、2年次以降に本登録を行うまでは毎年仮登録を行ってください。本登録は、「図書館演習」を履修する前年度の秋(10月下旬に予定)に開催する「図書館司書課程登録説明会」に出席し、手続きを行うことが必要です。

同志社大学図書館司書課程教科間の関係 【2018年度生以降】

(網掛けは必修科目)

